

信州大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科頭頸部外科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2026 年 1 月 26 日

頭頸部癌に対する高用量シスプラチン併用化学放射線療法(CRT)における栄養介入および運動療法導入の治療耐容性・予後への影響」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学生命科学・医学系研究倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	6721
研究課題名	頭頸部癌に対する高用量シスプラチン併用化学放射線療法における栄養介入および運動療法導入の治療耐容性・予後への影響：後ろ向き観察研究
所属(診療科等)	耳鼻咽喉科頭頸部外科
研究責任者(職名)	鬼頭 良輔(准教授)
研究実施期間	医学部長による許可日～2030 年 3 月 31 日
研究の意義、目的	頭頸部癌に対する高用量 CDDP 併用 CRT では、治療中の栄養状態悪化や体力低下により体重減少や治療中断が生じることがあります。当科では 2014 年頃から栄養介入を体系化し、2020 年から運動療法プログラムを導入しました。本研究では、これら支持療法の導入が体重減少の抑制、CDDP 投与量の確保、予後に与える影響を明らかにし、今後の支持療法の改善に役立てることを目的とします。
対象となる方	2012 年 1 月 12 日～2024 年 3 月 31 日(2023 年度まで)の期間に、当院で頭頸部癌に対して高用量 triweekly CDDP 併用 CRT を受けられた方
利用する診療記録	年齢、性別、身長、体重、BMI、腎機能等 原発部位、病期、T 分類、N 分類、p16 等(取得可能な範囲) 治療内容(治療開始日、放射線治療記録、CDDP 投与量等) 栄養介入・運動療法の実施状況(記録から取得可能な範囲) 再発・生存に関する情報(最終確認日、再発日、死亡日等)
研究方法	過去の診療記録等から上記の情報を収集し、支持療法導入時期により 3 群に分類して、体重減少や CDDP 投与量、予後との関連を解析します。解析では患者背景の差を考慮するため、傾向スコアを用いた重み付け解析等を行います。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。

問い合わせ先	氏名(所属・職名): 鬼頭 良輔(信州大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科 頭頸部外科 准教授) 電話: 0263-37-2666
--------	--

既存の診療記録や検査結果を研究・調査・集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報が出ることはありません。必要な情報のみを匿名化して集計し、研究成果は学会や学術雑誌等で発表しますが、患者様を特定できる情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点がある場合は、上記問い合わせ先までご連絡ください。研究不参加を申し出られた場合でも、不利益を受けることはありません。なお、すでに研究成果が公表された後や、情報が匿名化され個人が特定できない状態になった後は、データの削除ができない場合があります。